

令和6年3月15日

お客様各位

日本化薬株式会社
アグロ事業部

「ファインスナイパー®」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、ご愛顧いただいております殺虫剤「ファインスナイパー®」（登録番号第24640号）が令和6年3月13日付で登録内容変更（使用方法の追加）となりましたので、お知らせいたします。

変更後も引き続き、「ファインスナイパー®」をご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名
第24640号	ファインスナイパー	フロメトキン水和剤

ファインスナイパーは日本化薬㈱の登録商標

■変更内容

以下のとおり、使用方法「常温煙霧」の追加より、「適用病害虫の範囲及び使用方法」の登録内容、及び注意事項が変更となりました。変更後の内容につきましては、別紙をご参照ください。

(1) 作物名「きゅうり（アザミウマ類）」に使用方法「常温煙霧」を追加する。

■本剤に関するお問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬㈱ アグロ事業部 営業部 マーケティング担当

電話：03-6731-5321 FAX：050-3730-0682

別紙

変更後の適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメキンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	—	アザミウマ類	2000倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	温室、ガラス室、 ビニールハウス 等の密閉できる 場所		70倍	10ℓ/10a			常温 煙霧	

変更後の農薬の使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 使用直前に、容器をよく振ること。
- (3) 幼苗期や軟弱徒長苗、高温時など一般に薬害が生じやすい条件では本剤の使用をさけること。
- (4) 他剤との同時施用及び近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- (5) 展着剤を加用すると薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
- (6) 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけむらのないように葉の表裏に十分散布すること。
- (7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (8) ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意を守ること。
 - 1) 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
 - 2) 煙霧が直接作物体に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物体に直接当たらないようにすること。
 - 3) 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉すること。できれば翌朝までとすること。
- (9) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

変更後の農薬使用者に係る注意事項

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 使用の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (5) 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ること。
- (6) 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- (7) 鍵のかかる場所に保管すること。